

# 顔の見える木材での快適空間づくり事業

## 【テーマ】京都府内産大径材(A材)を活用した 新たな幼児用家具・遊具の開発とその普及・啓発

### 背景と目的

#### 【背景】

- ・京都府内においても大径材化が急速に進行。大径材(A材)が適正に評価されず、多くが燃料用に利用され価値の低下が顕著
- ・京都府では都市部木質化や幼児用の家具等のニーズが高まっているが、そのニーズを満たす付加価値の高い家具・遊具が少ないことが課題

#### 【目的】

- ・新たな幼児用家具・遊具を開発するとともに、普及・啓発活動を行い京都府産A材の需要拡大を図る

### 対象とするA材丸太を原材料とする付加価値の高い木材製品

- 保育関係者、川上～川下、行政等と協働で開発する  
京都府産大径材(A材)を活用した新たな幼児用の家具・遊具等

保育関係者

供給側(川上～川下)

京都府

協働

意見交換会  
試作品開発  
モニター調査

現場の  
ニーズに応じて  
高付加価値化



①机



②椅子



③収納家具等

事業実施主体

一般社団法人京都府木材組合連合会

### 実施体制・連携グループ

- 原木供給 : 京都府森林組合連合会(京都府内の20の森林組合)
- 家具・遊具の試作 : 京都府内の製材・家具製造業者
- 知見提供・モニター調査協力・連携:
  - ・(一社)京都府保育協会(府内の民間保育園・認定こども園等229ヶ園)
  - ・(公社)京都市保育園連盟(市内民間保育園・認定こども園等265ヶ園)
  - ・京都府(行政)
- 事務局:(一社)京都府木材組合連合会(11木材組合(計188事業者))

### 事業内容(利用拡大に向けた具体的な実施項目)

#### ① 保育現場等で求められる家具・遊具のニーズ調査・開発

- (一社)京都府保育協会・(公社)京都市保育園連盟と連携し、保育現場での家具・遊具に関する意見交換会等を開催する
- 川上(原木供給)から川中・川下(製材・家具製造)と協力しA材の活用へ向けての試作品検討会議等を開催し、保育現場からのニーズに応える家具・遊具の試作品を開発する
- 保育現場で試作品のモニター調査を行い、品質向上へつなげる

#### ② 京都府産A材を活用した家具・遊具の普及・啓発活動

- 効果的なPRツールとして家具・遊具等の製品カタログを制作する
- 相談窓口を開設し、相談内容に応じて連携事業者をコーディネートして多種多様な要望にワンストップで応えられる仕組みをつくる
- 京都府や(一社)京都府保育協会、(公社)京都市保育園連盟等と連携し、幼稚園や保育園、行政機関、商業施設等でPRを行う

スケジュール

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

保育関係者と意見交換会

A材活用に向けての検討会議・試作品開発

モニター調査

相談窓口の開設・大径材(A材)需要拡大に向けての普及・啓発活動

報告書作成